

周防大島町の話題



▲大島大橋の下で記念撮影をする児童・教職員の皆さん

「未来スケッチ@周防大島」開催

9月7日、大島文化センターで地球温暖化対策実行計画策定に向けた町民ワークショップ「未来スケッチ@周防大島」を開催しました。

これは周防大島町が目指す「持続可能な未来の姿」を描き、アイデアを共有する場として企画されたワークショップで、当日は町民14名が参加しました。

ワークショップはグループワーク形式で行われ、地域特有の魅力や課題を共有し、また周防大島町出身者と移住者などで気付きや視点が異なるなど、新たな発見もあり、参加者同士の深い学び・交流の場となりました。

「大島丸」で宮島社会見学

9月3日、島中小学校と浮島小学校の児童23名が合同で宮島水族館を訪れました。

両校は笹川平和財団の助成を受け海洋教育に取り組んでおり、今回は大島商船高等専門学校の協力を得て、練習船「大島丸」での見学が実現しました。宮島水族館を訪れた際には、普段入ることのできないバックヤードを見学し、貴重な体験が、子どもたちの心に大きな学びとして残った一日となりました。



▲ワークショップで意見交換を行う藤本町長と参加者の皆さん



消防操法大会

9月20日、山口市の山口県消防学校において、第72回山口県消防操法大会が行われました。

消防操法大会は、消防技術の向上および消防団員の士気・連帯意識の高揚を図り、消防団の活動力の強化と県民の理解を深めるため、県内の消防団および女性消防隊の代表が消防操法を競う大会です。

周防大島町からは、周防大島町消防団（大島支部）の代表5名がホース延長から放水までの基本的な操作の確実性、迅速性を競う基本操法（小型ポンプ）の部へ参加し、日ごろの訓練の成果を発揮し、大会の緊張感の中でも団結力を感じさせる活躍を見せていました。

◀操法大会時の様子